



# 2024年12月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月8日

上場会社名 株式会社ファンコミュニケーションズ  
コード番号 2461 URL <https://www.fancs.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二宮 幸司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレートデザイン本部長 (氏名) 加藤 正人

TEL 03-5766-3530

半期報告書提出予定日 2024年8月14日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年1月1日~2024年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	3,404	9.6	706	37.9	781	32.0	830	37.7
2023年12月期中間期	3,764	1.8	1,138	9.7	1,149	11.6	602	30.8

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 879百万円 (35.4%) 2023年12月期中間期 649百万円 (26.6%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	12.53	12.53
2023年12月期中間期	9.10	

(注) 2023年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	22,784	17,479	76.5
2023年12月期	23,378	17,888	76.2

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 17,426百万円 2023年12月期 17,805百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期		0.00		19.00	19.00
2024年12月期		0.00			
2024年12月期(予想)				19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,980	5.6	1,910	7.6	1,920	8.7	1,560	26.5	23.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1 社 (社名) 株式会社WAND、除外 1 社 (社名) シーサー株式会社
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期中間期	76,930,032 株	2023年12月期	76,930,032 株
期末自己株式数	2024年12月期中間期	10,681,603 株	2023年12月期	10,681,603 株
期中平均株式数(中間期)	2024年12月期中間期	66,248,429 株	2023年12月期中間期	66,251,054 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想数値に関する事項は添付資料の3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

## 1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、社会経済活動が活発となり、雇用・所得環境の改善、外国人観光客の増加に伴うインバウンド消費の増加などの影響もあり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、欧米における高い金利水準の継続や中国の不動産市場の停滞の影響などの海外景気の下振れ、また、ロシアによるウクライナ侵攻などの地政学的リスク、為替の変動など、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループにおいては、当社の企業理念である「つくる、信じる、コツコツと。」をベースに2024年度を「第2創業期」と捉え、代表取締役社長の交代を実施しております。

また、経営ビジョンである「プロシューマー・ハピネス」を加速するため、これまで主力サービスとして位置付けていた「nend」の事業撤退や連結子会社の吸収合併など、価値提供ができない既存事業の整理やリソースの再配置など「事業の選択と集中」を実施しております。

また、このSNS隆盛時代において、複雑で多様化したインターネットマーケティングを「より簡単に」「より多くの成果の創出」を実現できるサービスの企画・開発に取り組んでまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は3,404,566千円(前年同期比90.4%)となりました。また、営業利益は706,237千円(前年同期比62.1%)、経常利益は781,407千円(前年同期比68.0%)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は連結子会社の吸収合併による繰越欠損金の利用などにより830,084千円(前年同期比137.7%)となりました。

なお、当中間連結会計期間より、従来「ADコミュニケーション事業」としていた報告セグメントを「新規事業」に名称変更をしております。

### ① CPAソリューション事業

CPAソリューション事業は、主力サービスでありますアフィリエイト広告サービス「A8.net」、スマートフォンアプリ向けCPI広告サービス「seedApp」等を提供しております。当中間連結会計期間においては、A8.netの稼働広告主数が横ばいで推移し売上高の伸びが鈍化いたしました。この結果、当中間連結会計期間の売上高は2,915,259千円(前年同期比95.3%)、セグメント利益は1,617,660千円(前年同期比91.2%)となりました。

### ② 新規事業

新規事業は、「ファンマーケティング」「インフルエンサーマーケティング」「LINEマーケティング」を中心に、新規事業の企画・開発投資を拡大しております。主力サービスでありましたスマートフォン向け運用型広告サービス「nend」について2024年3月29日を以て広告配信を停止し事業撤退をいたしました。一方、2024年5月31日付でインフルエンサーマーケティングを手掛ける株式会社WANDを子会社化しております。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は489,306千円(前年同期比90.5%)、セグメント損失は435,540千円(前年同期はセグメント損失151,368千円)となりました。

○ 報告セグメント別の売上高の内訳

セグメントの名称	2023年12月期中間期		2024年12月期中間期		2023年12月期	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
CPAソリューション事業	3,058,923	81.2	2,915,259	85.6	6,011,325	81.3
新規事業	540,582	14.4	489,306	14.4	1,074,912	14.5
その他	165,015	4.4	—	—	310,423	4.2
総売上高	3,764,521	100.0	3,404,566	100.0	7,396,661	100.0

なお、主力サービスであるアフィリエイト広告サービスにおける当中間連結会計期間末の利用広告主数（稼働広告主ID数）、参加メディア数（登録パートナーサイト数）は、下記のとおりであります。

サービス	区分	2024年12月期 中間期末	2023年12月期末
「A8.net (エーハチネット)」	稼働広告主ID数	3,451	3,472
	登録パートナーサイト数	3,461,463	3,381,945

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 総資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当社グループの当中間連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ593,672千円減少し、22,784,549千円となりました。主な要因としましては、のれんが617,100千円（前連結会計年度末は0円）と617,100千円増加したこと及び有価証券が798,171千円（前連結会計年度末は596,288千円）と201,883千円増加した一方、現金及び預金が15,954,344千円（前連結会計年度末は17,299,374千円）と1,345,030千円減少したこと及び投資有価証券が1,270,464千円（前連結会計年度末は1,402,267千円）と131,803千円減少したことによるものであります。

(負債)

当社グループの当中間連結会計期間末における負債は前連結会計年度末に比べ184,338千円減少し、5,305,275千円となりました。主な要因としましては、未払法人税等が156,624千円（前連結会計年度末は303,606千円）と146,981千円減少したこと及びその他流動負債が698,352千円（前連結会計年度末は741,976千円）と43,624千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当社グループの当中間連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末に比べ409,334千円減少し、17,479,273千円となりました。主な要因としましては、親会社株主に帰属する中間純利益を830,084千円計上した一方、配当金の支払いにより1,258,720千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月2日に公表しました業績予想から修正は行っておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,299,374	15,954,344
売掛金	2,877,883	2,918,247
有価証券	596,288	798,171
その他	390,711	313,443
貸倒引当金	△9,057	△8,422
流動資産合計	21,155,201	19,975,783
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	53,252	49,456
工具、器具及び備品(純額)	39,006	12,591
有形固定資産合計	92,258	62,047
無形固定資産		
のれん	-	617,100
その他	387,974	417,326
無形固定資産合計	387,974	1,034,427
投資その他の資産		
投資有価証券	1,402,267	1,270,464
その他	341,379	443,434
貸倒引当金	△859	△1,608
投資その他の資産合計	1,742,787	1,712,290
固定資産合計	2,223,020	2,808,765
資産合計	23,378,221	22,784,549

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,315,292	4,305,841
未払法人税等	303,606	156,624
ポイント引当金	7,940	17,511
賞与引当金	3,441	9,732
その他	741,976	698,352
流動負債合計	5,372,257	5,188,063
固定負債		
その他	117,356	117,212
固定負債合計	117,356	117,212
負債合計	5,489,613	5,305,275
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,173,673	1,173,673
資本剰余金	278,373	278,373
利益剰余金	21,052,211	20,623,576
自己株式	△4,779,247	△4,779,247
株主資本合計	17,725,011	17,296,376
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	80,066	129,794
その他の包括利益累計額合計	80,066	129,794
新株予約権	83,529	53,102
純資産合計	17,888,608	17,479,273
負債純資産合計	23,378,221	22,784,549

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	3,764,521	3,404,566
売上原価	738,052	587,335
売上総利益	3,026,469	2,817,230
販売費及び一般管理費	1,888,343	2,110,993
営業利益	1,138,125	706,237
営業外収益		
受取利息	4,508	4,109
受取配当金	3,500	2,400
投資有価証券売却益	13,693	-
為替差益	18,635	56,401
債務免除益	-	27,042
その他	2,275	7,476
営業外収益合計	42,613	97,430
営業外費用		
投資事業組合運用損	31,559	22,260
その他	49	0
営業外費用合計	31,608	22,260
経常利益	1,149,130	781,407
特別利益		
固定資産売却益	27	-
新株予約権戻入益	-	32,067
特別利益合計	27	32,067
特別損失		
固定資産除却損	1,259	19,412
減損損失	59,773	-
関係会社株式評価損	109,999	-
関係会社支援損	20,000	-
その他	8,169	-
特別損失合計	199,202	19,412
税金等調整前中間純利益	949,954	794,061
法人税、住民税及び事業税	357,738	117,612
法人税等調整額	△10,771	△153,635
法人税等合計	346,967	△36,023
中間純利益	602,987	830,084
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益	602,987	830,084

## (中間連結包括利益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	602,987	830,084
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,966	49,727
その他の包括利益合計	46,966	49,727
中間包括利益	649,953	879,812
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	649,953	879,812
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	CPAソリューション事業	新規事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益 (注) 4	3,058,923	540,582	3,599,506	165,015	3,764,521	—	3,764,521
外部顧客への売上 高	3,058,923	540,582	3,599,506	165,015	3,764,521	—	3,764,521
セグメント間の内部 売上高又は振替高	124,252	459	124,711	36,573	161,285	△161,285	—
計	3,183,175	541,042	3,724,217	201,589	3,925,806	△161,285	3,764,521
セグメント利益又は損 失 (△)	1,773,452	△151,368	1,622,084	△57,720	1,564,363	△426,238	1,138,125

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メディア事業等を含んでおります。

4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益はありません。

5. セグメント資産および負債は、最高意思決定機関が経営の意思決定上当該情報を各セグメントに配分していないため記載は省略しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「新規事業」において、当中間連結会計期間より連結の範囲に含めたmint株式会社に関連するのれんについて、のれんの未償却残高59,773千円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

Ⅱ 当中間連結会計期間 (自2024年1月1日 至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	CPAソリューション事業	新規事業	計		
売上高					
顧客との契約から 生じる収益 (注) 4	2,915,259	489,306	3,404,566	—	3,404,566
外部顧客への売上 高	2,915,259	489,306	3,404,566	—	3,404,566
セグメント間の内部 売上高又は振替高	120,977	14,619	135,596	△135,596	—
計	3,036,236	503,925	3,540,162	△135,596	3,404,566
セグメント利益又は損 失 (△)	1,617,660	△435,540	1,182,120	△475,882	706,237

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産および負債は、最高意思決定機関が経営の意思決定上当該情報を各セグメントに配分していないため記載は省略しております。

4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益はありません。

5. 前連結会計年度まで「その他」に表示しておりましたシーサー株式会社の売上高につきましては、2024年1月1日付でシーサー株式会社を当社が吸収合併したことに伴い、当中間連結会計期間からサービスの運営部門に応じて「CPAソリューション事業」及び「新規事業」に含めて表示しております。

6. 当中間連結会計期間より、従来「ADコミュニケーション事業」としていた報告セグメントを「新規事業」に名称変更をいたしました。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当中間連結会計期間において、株式会社WANDを子会社化したことに伴い、「新規事業」においてのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は617,100千円であります。